

I. 平成30年度の実績

グループ名称	夢×みらいラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0321	—	0705

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	月に一回事業を広く知ってもらえる場所を設けた。 また、各住宅の認定取得や補助金の手続きを行うにあたって、工務店からの相談にのり、手厚いサポートを心掛けた。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/07/13	名称	説明会	●
	内容	グリーン化の概要説明、H30年度の取組み内容、目標等の説明を行った。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/07/13	名称	建築相談会	●
	内容	グリーン化の概要説明をし、施主の条件に合ったプランの提示を行った。					
	消費者説明会 2		開催日		名称		
	内容						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/17	名称	建築相談会	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/07/13	名称	建築相談会	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/10/12	名称	建築相談会	●
	工務店研修会 4		開催日		名称		
	工務店研修会 5		開催日		名称		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	施工状況に合わせて必要書類の連絡を行い、スムーズに申請業務が行えるよう密に連絡を取り合った。	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	事業内容をより理解していただけるよう、分かりやすいパネルや資料を独自に作成した。	
取組み③	サポートの有無 3	有	
	内容	勉強会を開き事業内容を説明。また、木材市場にて相談コーナーを設け、常時建築相談を受け付けた。	

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	13	発行予定	10
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ構成員が業務を断続できない事由が発生した場合、メンテナンス等に関し業務を引き継ぐことが可能で、実績を基に、適切と思われるグループ構成員を事務局が紹介する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	有	
対応内容	H30年度施工構成員が廃業した際、他の工務店様に引継ぎ、無事補助金交付を完了することができた。	

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	断熱材やサッシの説明会を行い、性能を一定の使用するように呼びかけた。また、住宅の設備(エアコン、照明、水栓、浴槽等)を性能が良いものを標準で使用するようにした。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	モデルプランを作成し、工務店が具体的な住宅の仕様をイメージしやすいよう取り組んだ。	
BELS工務店の登録数	1社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	夢×みらいラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0321	—	0705

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/12	名称	建築相談会		
	内容	今年度の取組み、H30年度の実績、H30年度からの変更点、注意点、目標等の説明会を実施する。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/12	名称	建築相談会		
	内容	H31年度グリーン化事業の説明、プランの相談を受け付ける。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/13	名称	勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/07/12	名称	勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/10/11	名称	勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	定期的にダイレクトメールやチラシを送付し、事業についての理解を深めてもらう。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	事務局のサポート体制を強化し、申請を最大限サポートする。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	実績報告までの流れのマニュアルを作成し、いつでも情報提供できるようにする。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	今年度も引き続き、グループ構成員が業務を断続できない状況になった場合、迅速に他のグループ構成員に相談し、紹介できる体制を強化する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	形をシンプルにし、断熱材、サッシ、住宅設備において基準をクリアできるモデルプランを作成し、提案していく。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	空き家の改修に力を入れる。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/12			
内容	新設された省エネ改修型の情報公開後速やかに、より多くの施工業者に知ってもらえるよう研修会を実施する。					
研修計画 ②		実施日				
内容						

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	夢×みらいラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0321	—	0705

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	敷地の形状が複雑な地域や広さに制限がある地域は、コンパクトでデザイン性のある住宅を提案し、敷地が広く取れる地域は、敷地の広さを最大限に生かし平屋の提案を行う。 吹き抜け、天高を高くする等デザイン性を重視した住宅も提案する。 また、より省エネルギー性の高い住宅にするため効率的に太陽光を設置せきる片流れ屋根を推奨する。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	全て九州一円材を含めた合法木材とする。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有			
造作材	枠材、廻縁等	有			
板材	壁板、床板等	有			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ内で資材の物流状況と、管理情報を情報交換する。地域の地産地消に寄与する取り組みを行う。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	住宅のモデルプランから住設機器の推奨品をリスト化して、建材メーカーと推奨品が円滑に流通できるような状況を確保する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の地域材・建材・資材の業者が常に在庫状況を把握し、事務局と連携して在庫状況を把握する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	公共建築木造工事標準仕様書等を基に特記仕様書を作成し、設計と施工で郷友会を回り、グループ内の意識を高めるとともに、施工基準の統一化を図る。一つでも多くの工務店に省エネルギー技術講習会を受講してもらえよう説明会で促す。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の「維持保全計画書」を活用し、6ヶ月・1年・3年、以降、部位ごとの適切なメンテナンス時期に応じて点検を行う。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループ内自主検査の体制を整え、定期的に現場に行き、施工状況と設計の確認を行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	内訳を細分化し、お施主様が分かりやすい見積りにする。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	消費税込み、抜きを明確にし、金額の誤認を無くす。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	会社カレンダーを作成し、極力導入している。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	能力評価制度を策定する。 さらに、能力評価制度の検討結果を踏まえ、高い技能・経験を有する者に対する賃金等の評価を行う。
③ 社会保険への加入	有	内容	加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	健康診断を年1回行う。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	夢×みらいラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0321	—	0705

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	畳の優れた効用(吸放湿性・断熱性・保温性・空気浄化作用・防音性等)を生かしながら、住み手の要望と現代の生活スタイルに応じ、適切な提案を行う。地域産畳を積極的に用い畳文化を守りつつ、流通の効率化を図る。
② 和瓦の活用	有	内容	長期的なメンテナンスの優位性、保温性、耐熱性に優れた和瓦を積極的に活用する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	流動的に空間を開け切りする箇所に襖を取り込んだデザインの提案を行う。和紙を使用し、保温性、断熱性に優れ、吸湿作用や空気浄化作用も期待できる障子を積極的に活用する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	人の生活に溶け込み、共に育ってきた陶器や紙、竹、珪藻土等の伝統的な素材を活用し、日本の気候風土に合った家造りを行い、伝統を継承する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	地域の伝統的なデザインを研鑽し、踏襲したものを提起する。伝統的住宅に見られる、深い庇や縁側空間などの緩衝ゾーンを設けることで夏の直射日光や射熱を防ぎ、快適な家とする。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域コミュニティとの交流をはかる。必要なプライバシーを保ちつつも、縁側や土間のような外に開かれたパブリック空間を形成することで、程よく地域とのつながりが保たれるような住まいづくりを目指す。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域の街並みに沿ったデザインを行う。また、昇華し、伝統的に即しながら新たな街並みを提起し、寄与できるようにする。一般的な計画により、統一感のある街並みの形成を図る。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

材料、人手が足りてない場合、周辺の工務店が迅速に派遣に行くことができる体制をつくる。

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

災害時、特に木材の供給を必要としている場所に回せるよう、構成員の数の多さを生かし、密な情報共有を図る。